



平成18年12月25日

各位

会社名 株式会社 サンリツ  
代表者の 代表取締役社長 三浦正英  
役職氏名  
(コード番号：9366 東証二部)  
問合せ先 企画室長 三角岳明  
電話番号 03-3471-0011(代表)

## 中期経営計画『Power and Team Work』に関するお知らせ (グループ力を結集した事業戦略の変革)

当社は、このたび2007年4月～2010年3月の3ヵ年の中期経営計画『Power and Team Work』を策定しました。

現中期経営計画「Build 3 up」では目標とした経営指標は達成する見通しですが、競争激化、企業の継続的な物流コスト削減要請が続くなか、持続的発展のための事業戦略の変革が課題として残されました。

今後3年間に挑戦すべき課題と戦略を集約したのが、今回新たに策定した中期経営計画『Power and Team Work』です。

### 中期経営計画『Power and Team Work』の概要

#### I. 経営ビジョン

- ◆ お客様「それぞれにとっての最適なサービス」を提供する  
—信用と付加価値の高いロジスティックスの提供—
- ◆ 未来志向の活力ある企業活動を明るく実践する  
—3PL事業の拡大、新規事業への挑戦—
- ◆ 成長し、変化し続ける企業としての価値向上を図る  
—受注の拡大と収益の増大—
- ◆ 株主、顧客、従業員それぞれにとってのベストを追及する

#### II. 経営基本方針

##### 1. 持続的な発展を追及する

- ◆ サンリツ・グループの事業を拡大路線に乗せ、2009年度に連結売上高200億円を達成する。
- ◆ 顧客の需要にあった物流エンジニアリングを提供していく。
- ◆ 環境保全への取り組みを強化する。
- ◆ 内部統制、コンプライアンス、リスク管理体制を強化することにより、持続的な発展を目指す。

##### 2. 経営戦略のグローバル化を志向する

- ◆ 当社のファシリティをフルに生かした事業展開を行う。(横浜港、成田空港の物流

施設等を有効に活用した営業体制の強化)

- ◆ グループ企業を生かした事業展開を図りグループの企業価値を高める。

### Ⅲ. 中期計数計画

- ◆ 業績 (単位: 百万円)

	2007年3月期 見込み	2008年3月期 計画	2009年3月期 計画	2010年3月期 計画
連結売上高	16,300	17,060	18,360	20,000
連結営業利益	1,008	1,161	1,300	1,420
連結経常利益	921	1,085	1,230	1,360

- ◆ 経営指標

	2007年3月期 見込み	2008年3月期 計画	2009年3月期 計画	2010年3月期 計画
連結株主資本利益率 (ROE: %)	5.0	6.0	6.5	7.0
連結株価純資産倍率 (PBR: 倍)	0.63	0.75	0.85	1.0

### Ⅳ. 中期経営戦略

#### 1. 事業戦略

- ◆ 3PL事業の強化
- ◆ 横浜港、成田空港の物流施設を活用した国際物流への取組みの強化
- ◆ 中国の事業強化
- ◆ グループ企業のファシリティをフルに活用した営業力の強化

#### 2. 組織戦略

- ◆ 事業所に対するサポート機能の強化
- ◆ 顧客の立地を考慮し、地域性・機能性を重視した支援体制の強化
- ◆ 仕組みから考える品質管理活動
- ◆ 内部統制、リスク管理、コンプライアンスを意識した組織作り

#### 3. 人事戦略

- ◆ 教育プログラムの強化による人材育成
- ◆ 新卒採用方針の強化

#### 4. 財務戦略

- ◆ 資金調達方法の多様化検討

#### 5. グループ企業戦略

- ◆ グループ企業の求心力向上と体制の強化

以上

※なお、当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。